

東濃東部地域における代表的な取り組み

1. 水道管の老朽化対策（大容量送水管）

- ・緊急時に対応するための貯留機能を合わせ持つ水道管を整備しています。
- ・令和4年度より、第2期分を本格的に工事着手しています。

【第1期】平成25年度～令和3年度 約138億円

【第2期】令和4年度～令和14年度 約170億円



推進工事（恵那市内）



開削工事（中津川市内）

3. 水道水の安定供給（恵下増圧ポンプ所）

- ・市営浄水場廃止に伴う、県営水道における水需要の増加に対応するため、水道タンク容量の増加、所内配管、非常用発電設備を再整備しました。

【整備期間】平成27年度～令和3年度

【事業費】約7.5億円（恵下増圧ポンプ所）



ポンプ所全景（中津川市内）



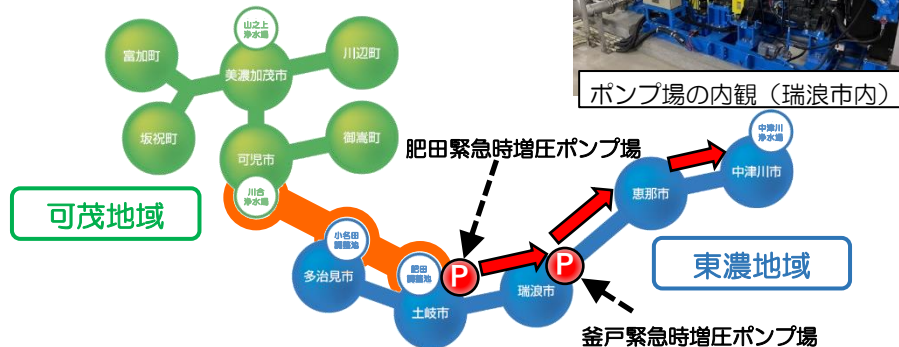
所内配管の整備状況（中津川市内）

2. 緊急時の安定供給（緊急時増圧ポンプ場）

- ・緊急時に、可茂地域から東濃東部地域に水を送るため、新たにポンプ場を整備し、災害拠点病院等の重要施設への応急給水を可能とします。

【整備期間】令和元年度～令和6年度

【事業費】約10億円



4. 停電対策（非常用発電設備）

- ・浄水場やポンプが停電した場合でも、水道水を送り続けるため、発電機を設置しています。常に、運転に必要な燃料を1日分確保しています。

【整備期間】平成23年度～平成28年度

【事業費】約6.4億円（落合取水場・各ポンプ所）



取水場の発電機（中津川市内）



ポンプ所の発電機（中津川市内）

その他、水道水の安定供給のため、施設の更新や修繕を計画的に実施しています。